

2016 vol.201 OCT

# SOUSAKU

創作手工芸



公益財団法人日本手工芸作家連合会

## 手工芸を通して次世代に伝えたいもの

公益財団法人日本手工芸作家連合会  
会長 花村 邦 昭



私たちは、住み馴れた「生活空間」を彩り賑わすために、そこにさまざまな仕掛けをほどこします。住居のたたずまい、室内の飾り、裁縫手芸、礼儀作法、友人や近隣との付き合い、さらには朝夕の食事の献立に至るまで、みなそうです。特に、母親たちによって受け継がれてきた裁縫手芸の伝統は、豊かな想像力、細やかな感受性、自然との共生的な生き方など、生活するうえで必要な知恵と感性を培う上で大切な縁となってきました。

裁縫手芸は単に日常の必要を充たすための家事に止まらず、生き活きた「家族空間」を演出するための工夫でもあります。それによって、平板な「日常空間」がどれほど心躍る「祝祭空間」へと作り変えられ、そのつど新しい自分を生き直すことができたか、われわれ日本人はみなその悦ばしい思い出を共有しています。

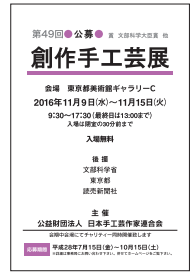
こうして少年少女期を通じて大切に伝えられてきたわが国特有の家族文化の伝統は、

やがてわれわれが営むすべての「生活空間」、「地域空間」、さらには「企業空間」、「イベント空間」などにも生かされていきます。「空間」とは、動いてやまない不定形な「流れ」のようなものですから、われわれはその「流れ」の位相を巧みに読み取って、柔軟かつ敏速に、自分をそれに一体化させようとしています。つまり、互いが主役となってそれぞれの役割を演じつつ、場に活力ある調和をもたらすよう互いの振る舞いを相互調整します。そして、その体験を通して人は仲間との紐帯意識を育み、硬直化した世界観や、形骸化した秩序観念などに捉われることのない、気配りの利いた、愛され頼りにされる人間、つまり、主対的に自己の本分を生きつつ同時に客対的に他者を気遣うこともできる、世態人情に長けた円満具足の人格主体へと成熟していきます。

その意味で、これまで大切に育てられ継承されてきた美しい「生活空間」「家族空間」の設えをわれわれは今いちど思い返す必要があります。わが「日本手工芸作家連合会」は、後述の「会員だより」にも記載しておりますように、本年の12月1日をもって創立50周年を迎えることとなりますが、その間、その活動を通して次の世代へ伝えたいと願い続けてきた思いも、正にこの日本的な文化と伝統に連なっているものでした。これからも、その思いの実現のために、われわれ一人ひとりが日々の精進を重ねていくことで、この国の美しい文化の伝承に貢献し続けていきたいと願ってやみません。

## ●第49回創作手工芸展

当連合会主催の「創作手工芸展」は、今回で49回目の開催となります。本年も東京都美術館のギャラリーCにて、11月9日(水)より11月15日(火)までの7日間にわたり、文部科学大臣賞、東京都議会議長賞など数々の受賞作品を展示いたします。入場は無料となっておりますので、すばらしい手工芸作品をご覧になっていただきたく皆様のご来場をお待ち申し上げます。



## ●一般社団法人企業価値協会による「2016年下期企業価値認定式」式典に出席

平成28年7月7日(木)パレスホテル東京において、当連合会の「ものづくり文化」の拡大と継承が評価され、式典・懇親会に会員3名が出席しました。表彰式では、庄子副会長が賞状を授与され、また懇親会では3分間のスピーチを行いました。

## ●講習会

毎月1回開催している講習会が今年も活発に行われています。スキルアップやニューフィールドへのチャレンジのためにも積極的にご参加ください。



12月 かんたん袋織  
講師 佐久間恭子



3月 ポタリー  
講師 大塚昌子



5月 羊毛フェルト  
講師 福田りお

### 平成28年度 講習会のご案内

開催日	講師名	テーマ	会場
平成28年 10月8日(土)	中嶋 留美子	組み紐	越前屋
平成28年 12月10日(土)	佐久間 恭子	クリスマスオー ナメント	越前屋
平成29年 1月11日(水)	松本 志津美	ヘアピンレース	クロバー
平成29年 2月11日(土)	一之瀬 治子	デコパージュ	越前屋
平成29年 3月11日(土)	大塚 昌子	ポタリー	越前屋



6月 シートフェルト  
講師 前田智美



7月 夏帽子  
講師 松本由伎子



9月 アジュール刺繍  
講師 内田桃子

## ●後援活動

当連合会では、支部・教室・会員の展覧会等創作活動に対して、後援を行っています。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

### 【今期の後援】

☆カトリア支部 (本誌6頁掲載)

刺繍でつづるニードルワークスタジオ展

代官山ヒルサイドプラザB1 平成28年4月8日～10日

☆梅支部 (第24回創作手工芸梅支部展)

福岡NHKギャラリー 平成28年9月20日～25日



梅支部 (第24回創作手工芸梅支部展)

## ●World Textile Day/Quilts UK 2016研修旅行記 — 国際交流 —

LLP 遊佐刺し子ギルド

代表 土門 玲子



2016年5月12日～24日迄の長い英国研修旅行を無事乗り越えられるか、毎度の事「成るようになる」の持論を展開して15名の生徒と共に出発日の5月12日を迎えました。成田空港からKL862便でアムステルダムへ飛びマンチェスターへと乗り継ぎ、チェスターのホテルPremier Inn Chesterへ、とりあえず美味しいレストランと清潔で寝心地良いベッドをゲット。

翌日からウェールズ地方ぐるり一周の旅の始まりです。

14日、World Textile Day当日は、チェスターから電車で賑やかに会場のフロドシャムへ。開始はSusanの「着物着付け教室」、ここでは土門コトさんが3種類の帯の結び方を実演し多くのUKキルターの参加者から喜ばれました。一方、展示会場の一角では多くのキルターの参加を得て体験教室を開催、遊佐刺し子のメンバーは一年生の参加者までも指導者として動員する体験教室となりました。

2014年までのイギリスでの体験教室では針目を5ミリに設定していたのを、今回の体験パターンでは、銭刺し8ミリ、柙刺し1センチに設定、イギリスの皆さんも刺し易かったのでしょうか、集中力もさることながら針目も揃い早く仕上がり、体験者からはとても喜んで頂けました。

16日、ランピーターへと移動。ウェルッシュ・キルト・センターは300年前には税務署だったところを展示館に改装したもので、キルト作家Jen Jonesさんが収集されたウェルッシュキルトの説明を受けました。

展示館の空間から醸し出されているなんともいえない重厚な雰囲気の中に、100年・200年・300年前の伝統のキルトが色あせず展示され、キルトのスカート・魔法使いの帽子ではなかったかと思わせる展示作品は、全て女性の身だしなみの為に作られた伝統の衣装なのです。リネン・綿に刺し込まれた素朴なキルトの美しさが「用の美」として遊佐刺し子の文化に通じ、手技が世界に通じることを今回の旅でも実感できました。

17日、セント・ファンガンス国立歴史博物館見学、キルター作家Mary Jenkinsさんと交流。600年前の古い教会の二階でオールド・リバティー布を使用して製作した彼女の作品と伝統のキルトの奥深さを説明され、お互いの作品紹介をしながら遊佐刺し子の文化伝承も理解して頂きました。

18日、ヘリフォードシャーではベーリングトン・ホール(18世紀の大富豪邸宅)において、イギリスの宝と言われる18・19世紀の古い刺繍とキルトのコレクションを特別に見学、学芸員さんから説明を受けることが出来ました。ひたすら美しく、日本の刺繍とは違った趣の針の進め方、異質な物(貝を削り花に見立てる)を取り入れた丁寧な仕上がりに驚きと感動を得ました。初の日本人として各部屋倉庫への入室を許されたのは奇跡に近いと言われました。あそこまで行く日本人は皆無なのでしょうか？

19日～22日迄、マールバンヒルで開催されたQuilts UK 2016において、体験教室と「丸池様」の展示に参加し、多くのキルターの皆さんと交流してまいりました。

研修をサポートして下さったSusan Briscoeご夫妻とイギリスキルターの皆さんに心から感謝しながら、異国で重労働を見事にやり遂げたおぼちゃん生徒の笑顔を生産に、無事帰国した事をご報告します。



セントファガンス国立歴史博物館にてキルト作家マリー・ジェンキンスさんより説明



国立博物館の古い教会にて



貝を使った美しい刺繍のジャケットは紳士ものです



キルター達と全員集合



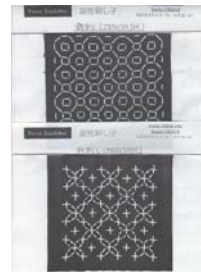
キルト作家でウェルッシュキルト研究員のジェン・ジョーンズさんより説明



地図



楽しく着付けの指導



持参の遊佐刺子サンプル



ベーリングトンホールで英国の宝と言われる刺繍を学芸員のマルシア・マッケンジーさんより説明



5月に持参した作品がスコットランド最大の展示会「グレートノーザンキルトショー」にて「詩的作品部門」3位入賞

## ●カトレア支部作品展

“欧風刺繍でつづるニードル・ワークスタジオ展”を終えて

神奈川 土井 イミ子

平成28年4月8日～10日まで東京都渋谷区にある代官山ヒルサイドプラザにおいて、作品数100点以上の欧風刺繍展を開催いたしました。

以前は2年に一度の開催でしたが、数年前より4年に一度としておりゆっくり時間を掛け、気分よく余裕をもって作品作りに向き合うことを目的とし、より良い作品に仕上げるため努力してまいりました。そして一人ひとり心のこもった作品に仕上げることができました。会場には400名を超える方々に見て頂き称賛の声を頂戴いたしました。

大盛況のうちに無事終わることが出来ましたこと、カトレア支部一同安堵しております。これからも更なる技術の向上・感動を与えられる作品作りに励んでまいりたいと思います。



## ●日本手工芸作家連合会 創立50周年記念イベントのご案内

当連合会が昭和41年12月1日に創設されて以降、本年の12月1日をもって創立満50周年を迎えることとなります。当連合会では、この意義ある節目の機会を記念するにふさわしい諸行事・諸企画を計画・推進することで、当連合会の発展を通じ、わが国手工芸文化のより一層の興隆と深まりに貢献してまいりたいと願っているところでございます。

つきましては、現時点で計画しております当連合会創立50周年記念イベントの概要を以下にご案内させていただきますと共に、これらに対する皆様方のご理解、ご協力さらにご活用、ご提案等を心よりお待ちしております。

### ①創立50周年記念式典の開催と記念講演会の実施

来年6月3日に、創立50周年を記念した式典を開催させていただくと共に、その式典にふさわしい記念講演会を実施させていただきますので、奮ってご参加ください。

### ②創立50周年記念誌の発刊

創立50周年に至るこれまでの歩みと主要な行事や諸企画等を俯瞰できる記念誌を発刊することで、これまでの記録と今後の道筋を展望してまいります。

### ③第50回創作手工芸展の開催と作品の公募並びに50周年記念特別出品展の併催

来年の5月28日(日)より6月4日(日)までの間、上野の東京都美術館において、開催いたします。つきましては皆様から数多くの公募作品をご出品下さいますようお願いいたしますと共に、50周年の歩みを象徴する過去の受賞作品の応募展示も併催致しますので、ぜひご高覧下さい。

### ④創立50周年記念山形研修会の実施

創立50周年を記念して、来年10月の実施を視野に、山形県での研修旅行を実施いたします。東北の豊かな自然と文化を学ぶ絶好の機会となりますので、是非ご参加をご検討下さい。

### ⑤チャリティーの開催

50周年の節目の年にふさわしいチャリティーを開催いたしますので、ご協力の程お願い申し上げます。

### ⑥資格取得キャンペーンの継続実施

現在展開中の資格取得キャンペーンを来年の創立50周年記念の年にも継続実施いたしますので、ぜひこの機会をご活用ください。

### ⑦50周年記念寄附金のお願いにつきまして

50周年を記念して皆様方に寄附金のお願いを申し上げましたところ、早速多くの皆様からご寄附をお寄せ下さり心より厚くお礼申し上げます。本寄附金につきましては、引き続き平成29年12月まで継続してお受けしておりますので、お力添えの程よろしくお願い申し上げます。

## ●資格取得のおすすめ

本連合会は、手工芸教育の普及発展を目的として、手工芸指導者の養成教育としての資格認定・免状授与を行っております。資格取得後は手工芸セミナーの指導者、社会教育における中学校・高等学校での指導者、生涯教育における指導者などの派遣を通じて、さまざまな手工芸分野で活動し、技術の向上に貢献しております。また、支部・教室で技術を習得することも出来ます。資格取得は生涯学習の宝です。

## ●新入会員紹介（平成27年10月～平成28年9月、敬称略）

平井 聖美（福岡県）	高住千恵美（福岡県）	村上 祐子（福島県）	西川 五月（千葉県）
渡邊 耕雲（神奈川県）	小澤 盛二（東京都）	根本 信子（東京都）	横田 保二（愛知県）
三沢 香（埼玉県）	江田 弓子（東京都）	青木 時子（栃木県）	前田 智美（神奈川県）
三登 朝香（広島県）	赤澤 静世（千葉県）	加瀬由美子（千葉県）	栗山 晴世（千葉県）
小林 初美（千葉県）	大木美津江（神奈川県）	佐藤由美子（千葉県）	平田 和子（大阪府）
長友 淳子（千葉県）	大前 良子（山形県）	田中 澄江（静岡県）	鈴木 郁江（東京都）
片田 功子（静岡県）	佐藤 正子（山形県）	遠藤 順子（山形県）	猪股 洋子（岡山県）
佐藤 史子（大分県）			

## ●教室・会員の作品展のご案内

会 期	テ マ	作 家	会 場
○H28.10.29-10.30	シャドウボックス作品展	石田 則子	市川市昭和学院短期大学&東部公民館
○H28.10.29-11.1	飾る・使う カルトナージュ展	よこた圭子	渋谷区代々木上原 Do Progetto
○H28.11.23-11.29	ザルツブルグのX'mas	リビエール	横浜高島屋
○H28.11.20-11.27	第10回薬師が丘作品展	原田 泰子	広島薬師が丘集会所ホール
○H28.11.19-H29.1.4	ディスプレイ(X'mas ワンダーランド)	リビエール	日黒
〃	〃 (THE NEW YEAR JAPAN)	〃	〃
○H29.1.17-1.22	市川市ゆかりの作家展	石田 則子	市川市民談話室
○H29.2.17-2.18	手作りフェア in 九州	梅 支 部	九州マリンメッセ福岡

## ●(公募)第50回創作手工芸展「作品募集」のお知らせ

展覧会会期：平成29年5月28日(日)～6月4日(日)

会 場：東京都美術館 ギャラリーC

募 集 期 間：平成29年2月10日(金)～4月28日(金) (予定)

作品は、未発表の手工芸作品で一人2点まで。3月31日(金)迄にお申込みの場合には割引特典がございます。(詳細は募集要項にてお知らせします)

・併 催：50周年記念展

・「チャリティーバザー」同時開催

第50回創作手工芸展に於いてチャリティーバザーを開催致しますので、会員の皆様のご参加お待ち申し上げます。

## ●50周年記念ご寄附者 H28年4～9月 (50音順・上：団体/下：個人、カッコ内は寄附金口数)

カトレア支部様 (20) 有限会社リビエール様 (20)

有川郁子様(6)	池田節子様(6)	池田ちる様(1)	石井とめ子様(50)	石橋ジュン子様(1)
内田桃子様(4)	木庭慶子様(2)	佐久間恭子様(2)	桜庭あい子様(1)	佐藤紗智子様(1)
庄子悦子様(6)	鈴木淳子様(1)	筒井真喜子様(1)	手塚慶子様(2)	富澤千寿様(1)
土門コト様(1)	土門玲子様(1)	長岡フミ子様(1)	檜垣淑子様(1)	藤田美津子様(1)
松本志津美様(6)	村上祐子様(1)	召田晃子様(2)	本橋雅恵様(6)	山村麻里子様(2)
渡邊耕雲様(2)	匿名4名(10)			

(ご芳志をいただきまして厚く御礼申し上げます)

## ●次回発刊予定のご案内

SOUSAKU 202号(創作手工芸)の発刊は平成29年4月を予定しております

●表紙作品：原 浩子 「オリエントからの風」

(第48回創作手工芸展 東京都議会議長賞受賞)

## 編集後記

当連合会の運営は会員の皆様からの会費、ご寄附により支えられています。手工芸の世界に関わっている皆様、愛好家の皆様、これからもご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

発行日/2016年10月吉日

発 行/公益財団法人日本手工芸作家連合会

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町3-6-10

MOビル 407号室

TEL 03-5282-5141 FAX 03-5282-5140

E-mail:info@syukogei-sakka.or.jp

URL http://www.syukogei-sakka.or.jp/